

平成 21 年度沖縄県社会福祉協議会研修等事業

## 障がい者の地域生活支援シンポジウム

～障がい者自立生活に必要な基盤と支援を考える～

### 1. 趣旨

障がい者に関する我が国の施策は、障害者自立支援法廃止が方向づけられ、新たな総合的福祉法制の制定にむけて検討が開始されている。このような検討・議論においては、当事者やその支援者の声を施策に反映させることや、国連の「障害者の権利条約」の内容を重視し、基本的人権やノーマライゼーションの実現が目指されている。

また、脱施設、地域移行など、近年の障がい者の生活は、在宅・地域での自立生活へと視点が移っているが、実際の障がい者の地域生活・自立生活においては、移行までの支援や移行後のサポート体制の充実など課題が指摘されている。

本シンポジウムでは、本県における障がい者の地域生活・自立生活における現状と課題を整理し、障がい者の生活に必要な「基盤」と、その「支援」とは何かを多様な関係者を交え考える契機とするものである。

### 2. 主催

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会

### 3. 期日

平成 22 年 3 月 18 日（木）13 時 00 分～17 時 00 分（12 時 15 分受付）

### 4. 会場

沖縄県総合福祉センター ゆいホール

〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1

### 5. 対象者

障害（児）者施設、市町村福祉関係部（課）職員、市町村社会福祉協議会、福祉系大学・専門学校、NPO・当事者団体、医療ソーシャルワーカー、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、県関係機関、民児協、障害者相談支援センター、精神障害者地域生活支援センター、障害者就労支援センター、地域包括支援センター、障害者当事者団体、教育委員会、医療機関

（※当日は手話通訳・要約筆記を配置する予定です。）

### 6. 定員

200 名 ※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。

7. 参加費（※消費税込み）

○県社協会員 1名：2,000円 ○県社協非会員 1名：2,500円

8. 参加費支払方法

①参加申込と同時に指定口座へお振込ください

②銀行・口座名：琉球銀行 石嶺支店 普通預金 333464

(福)沖縄県社会福祉協議会 会長 新垣雄久

③送金あて名は「フク、オキナワケンシャキョウ」と記入ください。

④振込手数料は、参加者負担となります。

⑤振込人名義が確認できるよう、「社会福祉法人」等は省略して記入ください

⑥原則として申込後のキャンセルについては返金できません。後日資料送付いたします。

9. 参加申込

別添申込書に必要事項記入のうえ、平成22年3月12日（金）までに郵送もしくはFAXにて下記の沖縄県社会福祉協議会までお申し込みください。

10. 申込み・問合せ先

沖縄県社会福祉協議会・地域福祉部 担当：川満大・津波香織

TEL：098-887-2000

FAX：098-887-2024

住所：〒903-8603

那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター西棟4階

11. 個人情報の取り扱いについて

個人情報に関する法律の平成17年4月からの全面施行に伴う措置として、参加申込書に記載された個人情報は、当シンポジウムの運営管理の目的のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

12. 日程・内容（※時間配分・内容等については当日変更になる場合もあります。）

12:15~13:00	受付
13:00~13:10	開会・あいさつ
13:10~14:00	【基調講演】(50分) 『権利条約から地域生活・自立生活の基盤を考える(仮)』 琉球大学法文学部人間科学課 教授 高嶺 豊(たかみね ゆたか)氏 権利条約から障がい者の権利について認識を深めるとともに、地域生活や自立生活を続けるために必要な『基盤』について、どのような柱、ポイントがあるか読み解いていきます。

14:00~14:10	休憩
14:10~15:40	<p>【シンポジウム①】(90分)</p> <p>『障がい者の地域生活・自立生活の現場から(仮)』</p> <p>基調講演にてあげられた障がい者の地域生活・自立生活の継続に必要な『基盤』について、各々の支援者より現状と課題の報告と、実際に地域生活を営む当事者の声を報告していただきます。</p> <p>○コーディネーター      沖縄県社会福祉協議会・地域福祉部長      嘉陽 孝治(かよう こうじ)</p> <p>○コメンテーター      琉球大学法文学部人間科学課 教授      高嶺 豊(たかみね ゆたか)氏</p> <p>報告1『社会で生きてみたい(仮)』(当事者)      ○シンポジスト:宮城 秀明(みやぎ ひであき)氏</p> <p>報告2『重度障がい者の地域移行について(仮)』(生活)      障がい者自立生活センター イルカ 代表      全国自立生活センター 代表      ○シンポジスト:長位 鈴子(ながい れいこ)氏</p> <p>報告3『障がい児教育の現状と課題(仮)』(教育)      沖縄市子ども家庭課 障がい児教育相談員      ○シンポジスト:砂川 喜洋(すながわ よしひろ)氏</p> <p>報告4『地域ではたらくために(仮)』(就労)      那覇市就労支援センター さわやか 所長      ○シンポジスト:浦崎 佳子(うらさき けいこ)氏</p>
15:40~15:50	休憩
15:50~17:00	<p>【シンポジウム②】(70分)</p> <p>『これからの地域生活・自立生活に必要な基盤とは(仮)』</p> <p>シンポジウム①にて明らかになった現状や課題をもとに、これから障がい者が地域生活・自立生活を続けていくために必要な支援や、それぞれの分野で連携・協働できることなど考えます。</p>
17:00	閉会

平成 21 年度

障害者の地域生活支援シンポジウム

参加申込書

所属機関名	
記入者名	
連絡先電話番号	( )
お振込予定日	月 日
お振込名義	

\*3月15日(月)までにお振込が必要です。

氏名	役職名等	備考

※お申込の締切日は平成 22 年 3 月 12 日 (金) です。

※お申込は、定員 (200名) に達し次第、締め切りますので(先着順)、お早めにお申込ください。

お申込先 沖縄県社会福祉協議会・地域福祉部あて(担当 川満・津波)

〒903-8603 沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1 西棟 4階

FAX098-887-2024